

## 第3回合同ミーティング

10月23日に発生した新潟県中越地震は阪神淡路大震災以降最大の地震災害になりました。発災以降私たちのチームではさまざまな活動が行われてきました。震災発生以後初めての会合でもあり、予定のプログラムを変更して、今回の活動について話し合う場を追加したいと思います。

《日 時》 平成16年12月11日(土) 10:00-17:00

《場 所》 横浜国立大学 環境情報研究1号棟5階515室

《プログラム》

10:00 研究方針：林 春男

    大大特減額、一方で林 Gr の責任いよいよ重し

    ICSの手ごたえあり、中越地震を契機に情報システム面も大幅進歩

### 各研究グループの研究進捗状況の報告

10:20 「日本社会に適した危機管理システム基盤構築の為に私達のグループがしてきた事」  
(東京大学生産技術研究所・目黒公郎)

11:00 「自治体・消防職員のICSイメージと『日本型』の方向について」  
(奈良女子大学・野田 隆)

11:30 「個人補償と現行社会システムの相克」(大阪経済法科大学・井出 明)

12:00 昼食

### Combat GIS：災害対応におけるGISの活用 - 新潟県中越地震での対応も含めて -

13:00 「2004年新潟県中越地震の災害対応におけるGISの活用：速報」  
(富士常葉大学・田中 聡)

13:30 「9・11・WTCにおけるGISについてのヒアリング調査報告とGIS活用のあり方」  
(横浜国立大学・川崎昭如)

14:10 「防災情報共有のためのクロスメディアデータベースの構築と新潟中越地震における情報共有に関する取り組み」(京都大学防災研究所・浦川 豪)

14:30 休憩

14:40 「Combat GISの第1案(全体像)の提示」(横浜国立大学・佐土原 聡)

15:00 「CMS(応急対応システム)のプロトタイプ開発」(横浜国立大学・古屋貴司、王 勁)

15:30 「GISを活用した防災情報共有のための防災Geography Networkポータルサイトの構築」(横浜国立大学・朴 英眞)

15:50 「2004年7月新潟豪雨災害現地調査におけるCombat GIS」  
(京都大学防災研究所・井ノ口宗成)

16:10 総合討論

17:00 解散

(敬称略)